

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 長岡市 (都道府県: 新潟県)
 本事業の担当部局名 子ども・子育て課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	3.1.4 ライフデザインセミナーの実施				
個別事業名	次代の親育成事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	令和6年4月1日	~	令和7年3月31日	事業開始年度	平成 24 年度
対象経費支予算額 ※(注)1	1,697,680				円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 これまでの少子化対策は、地域子育て支援拠点施設(子育ての駅)の整備、長岡版ネウボラ(妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する制度)など、子育て世代への支援を中心に取り組んできた。 少子化対策には、子育て世代だけでなく、学生や若者などの結婚前の世代に対する支援も必要であり、結婚や出産、子育てで得られる幸福感を発信し、興味を持ってもらえるような取組の実施が課題である。				
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 子育て世代への支援を引き続き実施していくとともに、結婚前の世代に対して、ライフデザインセミナーを実施し、結婚や子育てについて、前向きに考えるきっかけづくりをするとともに、結婚イベントを支援し、出会いの場や若者の交流拡大に取り組んでいる。 <本個別事業の位置付け> 上記の内、結婚前の世代に対する取組として、中学生を対象に、妊娠・出産の流れや命の始まりについて絵本等を使って学ぶ「座学」と、「0歳児の親子との交流」を実施することで、①乳児の温かさを感じたり、自分自身も周りから愛され、大切な存在であることを実感してもらうとともに、自己肯定感を育む。②0歳児の親の話を聞くことで、結婚・出産・育児を前向きで幸せなものとして捉え、次の世代へ命を繋ぎたいと感じられる効果が期待される。 また、0歳児の親にとっても、①中学生の姿からわが子の成長を想像でき、わが子への愛着が増すきっかけに繋がる。②多世代での交流により子育て世代の受援力を育むことも期待される。				
	(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 課題は、①コロナ禍での少子化による協力親子の減少や赤ちゃんの機嫌によって、抱っこなどの体験ができない学生がいたこと。②スタッフの世代交代により事業の意思統一に苦慮したこと。 課題に対する取組として、①「赤ちゃん人形の抱っこ体験」と「協力親子との触れ合い体験」をグループごとに両方体験できるようにするなど、その都度、適切な方法で実施する。②「ファシリテーターに対する研修を実施する」など、その都度、適切な方法で実施する。				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	次代の親育成イベント	・中学生を対象に、①命の大切さを学ぶ座学と、②乳幼児との触れ合いを実施する。 ・②乳幼児との触れ合いは、「赤ちゃん人形の抱っこ体験」と「協力親子との触れ合い体験」をグループごとに両方体験できるようにするなど、その都度、適切な方法で実施する。 ※対象: 市内中学校の20クラス また、ファシリテーターに対する研修を実施し、対応スタッフ間で差が出ないようにする。	○	○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 アンケート結果を活用し、実施方法や時間配分について検討を行い、より効果的に実施できるよう見直しを図る。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		長岡市の子育て環境や支援に満足している人の割合		%	80
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.43 (R4年度)	
	婚姻件数		件	未集計	
	婚姻率			未集計	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	実施クラス数	組	20	15 (R5年度)
	2				
	3				
	(アウトカム)				
	1	実施希望学校数	校	15	13 (R5年度)
	2	実施希望クラス数	組	45	40 (R5年度)
	3	赤ちゃんをかわいいと感じる割合(満足度)	%	95	90 (R5年度)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	特になし。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>当事業については、NPO法人多世代交流館になーナに平成24年から委託して実施している。</p> <p>当法人は、地域子育て支援拠点施設(子育ての駅ぐんぐん)の運営も委託しており、子育て世代を中心に多世代、多文化、多分野、多地域の交流を日常的にできる場と機会の提供をすることによって「人の協力・関わり」を大切に、お互いがはぐくみあえる社会を目指している法人であり、当事業の講師やファシリテーターをできる人員が在籍している。</p>				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。